

「①意欲を持って学ぶ子」

「②仲良く高め合う子」

「③強い心と体を鍛える子」

学校だより

# 屏風山

びょうぶさん

令和7年11月28日

瑞浪市立 稲津小学校

稲津小学校ホームページへのリンク→



## 地域で学ぶ 地域の方に学ぶ

校長 加藤 美香子

学校だより「屏風山」9月号で、前期のコミュニティ・スクール、地域とのかかわりのあった学習・活動等の紹介をしました。9月末までに36もの活動で、地域の方や保護者の方にご協力いただき、充実した取組を行うことができました。職員一同、感謝の気持ちでいっぱいです。

10月以降も「命の日」の取組や米作り、「ひざし」訪問、小里川探検など、例年同様に活動を行っています。更に、高学年の家庭科での地域ボランティアの方による授業支援、2年生の生活科で地域を知る活動、昔遊びの学習で「出前いなほ」利用者の方との交流会を新たに行いました。

地域へ出かけたり、地域の方と関わったりする中で、ふるさと「稲津」のこと、活躍されている方のことを知るだけでなく、その方たちの思いについても学んでいます。また、地域の方々に自分たちは大切にされているのだということを実感する機会にもなっています。1年生が稲荷神社で秋見つけをしたとき、神社の整備をされている地域の方から剪定されたモミジの枝をいただきました。モミジを枝ごと手にすることは、学校ではなかなかありません。何本もの枝を子どもたちは大切に学校まで持ち帰り、生活科の授業に役立てました。何気ない出来事のようにですが、「子どもたちに本物を見るだけでなく、手にしてもらいたい。」という地域の方の深い思いを感じます。また、大切に学校まで持ち帰る子どもたちの姿には、そんな地域の方の思いを大切にしたいという気持ちが芽生えていると感じます。こうした小さな出来事の繰り返し、コミュニティ・スクールの目指す姿「ふるさと大好き ～地域に誇りをもち、自分から動ける子～」の実現につながっていきます。

10月末、6年生が「ひざし」訪問を行いました。利用者の方と一緒に楽しみたいという思いで、クイズやレクリエーションを考えました。当日は、「ふるさと」の合唱も披露し、涙を流して聞いてくださった方もいらっしゃいました。利用者の方からのお手紙の一部を紹介します。

先日はありがとうございました。ひと時を楽しく過ごすことができてうれしかったです。どのお子さんも美しい瞳をキラキラと輝かせ歌やクイズを一生懸命にしてくださいました。私は、思わず目頭が熱くなりました。～ 中 略 ～ 今後のご活躍とご健康を心よりお祈りしております。

6年生のみなさん、先日はひざしへ来ていただきありがとうございました。クイズや明るい元気な歌声を聞き、私たちも元気をいただきました。みなさんと一緒にふるさとを歌っていましたが、ふいに涙が出てきて、泣けてしまいました。～ 中 略 ～ みなさん、元気に頑張ってください。

当日の活動はもちろんですが送っていただいたお手紙から、自分たちのことを大切に思ってくださっている地域の方の思いを知るだけでなく、「誰かのために何かできる、役に立っている」ことを感じられる活動だったことを感じました。

地域での学びや地域の方で行った活動はまだまだあります。ご家庭でもぜひ、子どもたちと話題にしてみてください。子どもたちは、自分の体験や思いを話すことで、さらにその学びを深いものにし、力としていきます。

